

6月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧いただけます。



太田市国土強靱化地域計画の推進について



創政クラブ 高木 きよし

議員 太田西部幹線の進捗状況について伺います。

都市政策部長 太田西部幹線の北進については、脇屋町の新田東部工業団地の北から市道1級13号線までの区間の用地買収に入る計画です。また、国道354号線までの南進については、引き続き県へ働きかけていきたいと考えます。

議員 狭あい道路整備事業の進捗状況について伺います。

都市政策部長 令和5年度の協議件数は173件、寄附処理済件数は160件、延長は3.5kmです。これまでの実績は、寄附総数2,047件、寄附総延長56.4kmとなっております。

議員 道路網の完成により、人と物の安全で効率的な移動が可能となり、災害時の安定した利用が期待されます。本市のさらなる発展には、大型運搬車両が安全に渋滞なく運行できる都市計画道路の整備が必要と考えますが、県への働きかけについて市長の所見を伺います。

市長 県への働きかけは絶えず行っている状況です。渋滞緩和のための右折帯の整備や沢野地区の交通安全対策、太田西部幹線の南進など、今後も順序立てて強く要望していきたいと考えます。

議員 市道2級62号線は、旧尾島町と旧新田町を直結させる重要な道路です。緊急車両はもちろん、通勤や通学で利用する人たちの利便性向上、地域全体の道路利用者の安全確保につながるものであり、早期に整備を行う必要があると考えますが、所見を伺います。

市長 各地に地権者との交渉が難航している道路がありますが、引き続き努力していきたいと思えます。



本市の公文書管理・情報公開制度及び行政の透明性の確保について



市民ファーストの会 神谷 大輔

議員 旧北茨城交流物産館の事業用定期借地設定契約書を公正証書化した趣旨について伺います。

産業環境部長 借地借家法第23条第3項により、事業用定期借地権の設定を行う場合には公正証書によることが規定されているため、公正証書化したものです。

議員 本契約書中に、中途解約における契約終了にあたり原状回復義務の履行が規定されていますが、こちらが履行されていない根拠について伺います。

産業環境部長 原状回復の義務については、公証人に確認をした上で、建物などの解体はせず現状のままをすることを双方で合意し、事業用定期借地権設定契約中途解約合意書を締結しています。

議員 契約者と双方で合意し、公証人に確認した上で合意書を交わすことで、後々疑義が生じることを防ぐことができ、行政の透明性向上にもつながると考えます。一方で、旧北茨城交流物産館の購入をめぐる折衝記録は存在せず、情報

公開や事業検証が困難となっており、行政の透明性の確保に著しい支障が生じると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 多くの場合、折衝記録というのは存在していません。これから桐生大学が本市に進出予定ですが、折衝記録はありません。オープンハウスアリーナ太田の建設も同様で、議会でもさまざまな議論がされており、これが折衝記録に勝るものだと思います。旧北茨城交流物産館の場合にも、議会の承認を得て、多文化交流の拠点とするという結論に至っており、議会でも存分に議論することが大切だと考えます。



■その他の質問
・通学路交通安全プログラムについて



プログラミング学校の現状と今後の展開について



太田クラブ 木村 浩明

議員 プログラミング学校の現状について伺います。

企画部長 I 課程からIII 課程まで、最長3年にわたってプログラミングの基礎から応用までを学んでいます。また、長期で学ぶ課程のほか、約4カ月間で学ぶ速習コース、夏休み期間に学ぶスポット講座を用意しています。長期コースの定員は、I 課程が火曜と金曜にそれぞれ24人で計48人、II・III 課程がそれぞれ36人となっています。

議員 多くの子どもたちに学びの機会を提供するために、例えば I 課程は新田地区のエアリスホールなどでも開催することができれば、保護者の送迎の負担が軽減され、受講者も増えると考えますが、今後のプログラミング学校の展開について伺います。

企画部長 できる限り受講生の拡大は検討していきたいと思えますが、職員体制や設備、講師確保の観点から、現状は本庁舎以外での開設は難しいと考えます。



議員 プログラミング学校について、芸術学校やスポーツ学校のように単独のセクションとし、より多くのカリキュラムの展開や、受講生の受け入れができるような組織拡大の検討について、市長の所見を伺います。

市長 議員の言われたような形になっていくことが望ましいと思えますが、費用のかかるセクションであり、まだ計画はありません。今後、独立した組織としてやっていけるような体制づくりについて、子どもたちのためになることであれば、十分検討していきたいと思えます。

■その他の質問
・公園の屋外トイレの改修について



第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づく学校図書館の整備について



公明党 前田 純也

議員 学校図書館図書整備等5か年計画に基づく目標達成度について伺います。

教育部長 図書整備の目安となる図書標準数達成校は、小学校91.7%、中学校75%です。新聞配備はすべての学校で達成されており、平均で小学校1.97紙、中学校2紙の配備となっています。

議員 12学級以上の学校図書館には、司書教諭の配置が義務づけられていますが、該当する学校数および該当しない学校への配置状況について伺います。

教育部長 配置義務のある学校は市内41校中34校であり、配置義務のない7校中2校にも司書教諭を配置しています。

議員 児童生徒が親しみやすい環境整備について、教育長の所見を伺います。

教育部長 蔵書の刷新、授業での積極的な活用、新たな情報の提供により、読書・学習・情報という3つのセンターとしての役割を活性化していきたいと思えます。

議員 学校図書館の整備には、図書購入費や新聞の複数配備など、予

算措置を含めた拡充が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 予算措置については、学校から要望があれば100%に近いところで応じていきたいと考えています。



議員 学校図書館は子どもたちの孤独や孤立感を和らげるための居場所にもなり得ると考えますが、所見を伺います。

市長 相談場所や居場所としての役割がありますので、職員が1人はいられるように、すべての学校に会計年度任用職員を配置しています。

■その他の質問
・孤独・孤立対策推進法の施行に伴う課題並びに今後の取り組みについて